はじめに…方言札　ことばと身体 ―― 近藤健一郎 9

1…近代沖縄における方言札の出現 ―― 近藤健一郎 17

1　方言札に関する回想と先行研究……18
2　本稿の課題と方法……24
　a　本稿の課題／24
　b　本稿の方法／25
3　回想から確かめられる方言札の存在時期……29
4　同時代史料に基づく方言札の存在しない時期の特定……31
　a　沖縄語と標準語とを対訳する授業／31
　b　一八九〇年代後半における標準語のみを用いる授業論の出現／32
　c　一九〇〇年代前半における沖縄語を用いた授業の否定／33
5　方言札出現の歴史的意義……38
　a　一九〇〇年代前半の沖縄県師範学校における沖縄語禁止と標準語教育／38
　b　全国的な標準語教育をめぐる状況／42
　c　標準語習得と沖縄語禁止の意図をめぐる論理／43
　d　結び／46

2…「南嶋詩人」、そして「国語」——八重山地域における近代学校／〈声〉と〈文字〉の相克——村上呂里 53
はじめに……54
1 前近代——〈文字〉をめぐる統治……56
2 近代学校の成立——〈文字〉の解放と〈声〉をめぐる統治……58
a「五音正シク」・「普通学のアイウエオ」／58
b 近代学校の意味するもの——平民・女性への〈文字〉の解放／64
3 〈声〉と近代学校……66
a 平民層にとっての学校／66
b 共同体の身体／近代学校の身体／68
4 〈声〉の発見——「南島」、そして「国語」……74
a 小学校教員としての喜舎場永珣／74
b 伊波普猷の脅え——柳田國男による「国語運動」という名づけ／76
3…近代沖縄における公開音楽会の確立と音楽観——三島わかな 89
はじめに……90
1 公開音楽会の確立と改良……91
a 学校教育の場における音楽会／92

b 学校以外の場における音楽会／99
2 大正期の音楽会にみる民間力……104
a 音楽文化的イベントの状況／104
b 琉球音楽演奏の場の多様化と正統性の自覚／106
3 昭和前期における社会楽の確立……110
a 昭和十五年をピークとした音楽会状況／111
b 社会楽と個人楽／114
おわりに……118

4…翻訳的身体と境界の憂鬱——仲里効 123
1 コロニアルな言語地図……124
2 翻訳的主体と内部の声……134
3 同化主義の予期せぬ現実……145

5…沖縄教職員会史再考のために——六〇年代前半の沖縄教員における渇きと怖れ——戸邉秀明 155
はじめに……156
1 新たな「日本」に直面して——六〇年代前半という時代……158

2　「母親と女教師の会」における解放と抑圧……164
3　国民教育分科会における復帰思想の変容と世代間の軋み……169
おわりに……175

6…沖縄移民のなかの「日本人性」

近代化と徴兵制から移民を考える

伊佐由貴

はじめに……184
1　日本における沖縄の位置、日系移民における沖縄移民の位置……187
2　日本人であること――近代化の一つの施策としての徴兵制……192
3　移民地における沖縄移民の歴史――ハワイの事例……201
おわりに……204